

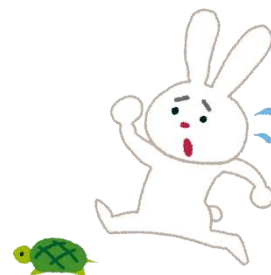


1学期お世話になりました

今日で1学期も終わり、いよいよ明日から夏休みです。1学期間を子どもたちが乗り切ることができたのも、保護者の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。明日からの夏休みが子どもたちにとって有意義なものになりますよう、1学期と同じくご協力をお願いします。通知表に関しては、令和2年度より年間2回（10月中旬と3月末）お渡しするようになっています。1学期の学習状況等につきましては、夏休み期間の教育相談にてお話させていただきたいと思っておりますので、お忙しい中とは思いますがどうぞよろしくお願いいたします。

ウサギとカメ

終業式では、子どもたちに向けて「ウサギとカメ」の話をしました。ウサギとカメがかけっこをして、途中でウサギが居眠りをしている間に、カメが先にゴールする、とても有名な話の一つです。それもそのはず、明治時代には教科書にも載っていて、文部省推薦の歌まで作られました。ちなみに教科書掲載当時の題名は「油断大敵」だったそうです。たくさんの方が、ウサギに焦点を当てたお話だと感じているのもうなずけます。ただ、最近はカメにスポットを当てた解釈もあるようです。



カメはどうしてウサギに勝ったのか、この理由をそれぞれの視点で考えた人がいます。ウサギが見ていたのは、カメです。ウサギはカメがゆっくり進む様子を見て、安心して居眠りをしてしまいました。それに対して、カメはずっとゴールを見ていました。競争の相手は誰でもよくて、ゴールだけを見て確実に歩を進めました。このお話をもとに、子どもたちには長い休みの間を、自分の目標をもって過ごしてほしいということを伝えたいところです。

1年生と6年生



集団での生活を経験でき、他学年との交流ができるのも、学校教育の良さの一つです。特に小学校では、1年生から6年生までのそれぞれの学年の姿を見ることができます。今回、6年生が1年生を招いてお店を出しました。作品や準備物もほとんどが手作りです。招いてもらう嬉しさと、人に喜んでもらうことの嬉しさとの両方を学ぶことができた時間でした。2学期にも行う予定です。

コロナ禍において大きな集団での活動や直接的な体験活動が制限される中ですが、子どもたちがうれしさや楽しさが実感できる夏休みになることを願っています。